

I 結果の概要

1 本県の課題

各教科区分に共通する課題

記述式の正答率が低い

無解答率が高い

	前回の課題	今年度の課題	詳細
小学校国語	<ul style="list-style-type: none"> ◆記述式(文章の構成や記述方法など複数の条件に応じて書く) ◆ローマ字を書く、読むこと 	<ul style="list-style-type: none"> ◆話すこと・聞くこと ◆記述式 	P 10
小学校算数	<ul style="list-style-type: none"> ◆数と計算(小数の減法、四則計算) ◆図形 	<ul style="list-style-type: none"> ◆数と計算 ◆数量関係 	P 28
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ◆算数への関心等 ◆学習習慣 	<ul style="list-style-type: none"> ◆算数への関心等 ◆言語活動・読解力 ◆学習習慣 	P 52 P 57 P 60
小学校 学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ◆個に応じた指導 ◆学力向上に向けた取組・指導方法 ◆家庭学習 ◆小学校教育と中学校教育の連携 ◆学力向上に向けた全国学力・学習状況調査の結果の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ◆個に応じた指導 ◆学力向上に向けた取組・指導方法 ◆家庭学習 ◆教員研修・教職員の取組 	P 62 P 66 P 68 P 70
中学校国語	◆漢字の書き	<ul style="list-style-type: none"> ◆伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ◆記述式 	P 18
中学校数学	<ul style="list-style-type: none"> ◆関数 ◆図形 ◆資料の活用 ◆記述式 	<ul style="list-style-type: none"> ◆関数 ◆数と式 ◆資料の活用 ◆記述式 	P 38
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ◆国語への関心等 ◆総合的な学習への関心等 ◆学習習慣 	<ul style="list-style-type: none"> ◆総合的な学習への関心等 ◆自尊感情 	P 54 P 56
中学校 学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ◆家庭学習 ◆小学校教育と中学校教育の連携 ◆学力向上に向けた全国学力・学習状況調査の結果の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ◆個に応じた指導 ◆学力向上に向けた取組・指導方法 ◆家庭学習 ◆教員研修・教職員の取組 	P 62 P 66 P 68 P 70

*本冊子における千葉県・全国の平均正答率及び平均正答数は、公立学校に在籍する児童生徒のものである。

2 教科区分別調査結果

*数値は、千葉県・全国とともに、公立学校の平均正答率(%)である。ただし、文部科学省の発表に基づき、全国平均正答率は小数第1位まで、県平均正答率は小数点以下を四捨五入した結果を示している。右の()の数値は平均正答数である。

小学校	千葉県	全国
国語A(15問)	75(11.2)	74.8(11.2)
国語B(9問)	57(5.2)	57.5(5.2)
算数A(15問)	77(11.6)	78.6(11.8)
算数B(11問)	46(5.1)	45.9(5.1)

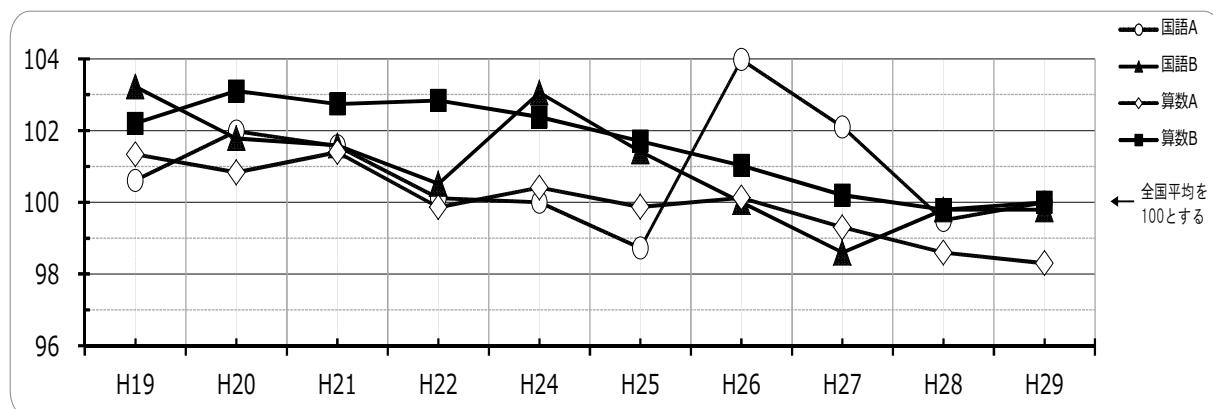
中学校	千葉県	全国
国語A(32問)	76(24.4)	77.4(24.8)
国語B(9問)	72(6.5)	72.2(6.5)
数学A(36問)	63(22.6)	64.6(23.3)
数学B(15問)	47(7.0)	48.1(7.2)

教科に関する調査結果について、本県の平均正答数は、全国平均と同程度である。

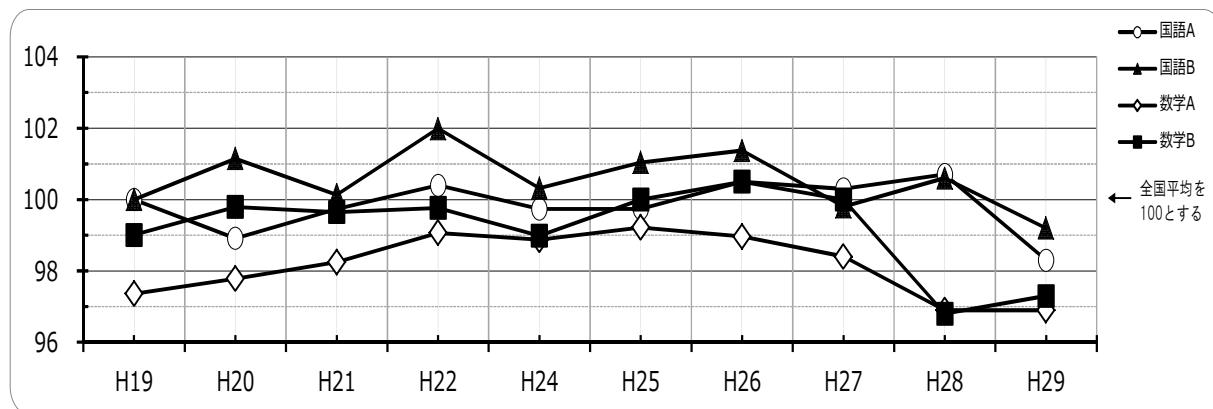
3 平成19年度からの本県の平均正答率(全国比)の推移

*全国(公立)を100として、千葉県(公立)の結果を相対的に表した数値をもとに記述した。

<小学校>



<中学校>



*平成22・24年度は抽出調査のため、平均正答率については95%信頼区間の中央値を表している。

*指標は、小数第1位までの平均正答率をもとに算出しているため、教科区分別調査結果を用いた値と一致しない場合がある。

*平成23年度は、東日本大震災の影響を考慮し、実施が見送られた。

4 教科に関する調査

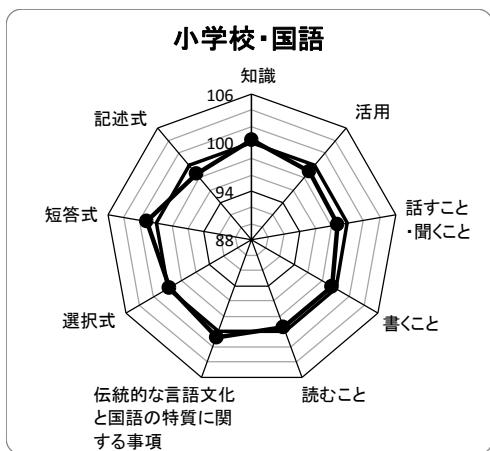
(1) 国語

【小学校】

知識（国語A）、活用（国語B）ともに平均正答率は、全国と同程度であり、昨年度に引き続き上昇傾向にある。領域別では、「話すこと・聞くこと」が全国をやや下回り、問題形式別では、「記述式」が全国をやや下回った。

平均正答率（%）

小学校	千葉県(公立)	全国(公立)
国語A	75	74.8
国語B	57	57.5



知識／活用	知識	100.3
	活用	99.1
領域等	話すこと・聞くこと	98.8
	書くこと	99.4
	読むこと	99.4
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	100.8
問題形式	選択式	99.7
	短答式	101.1
	記述式	98.6

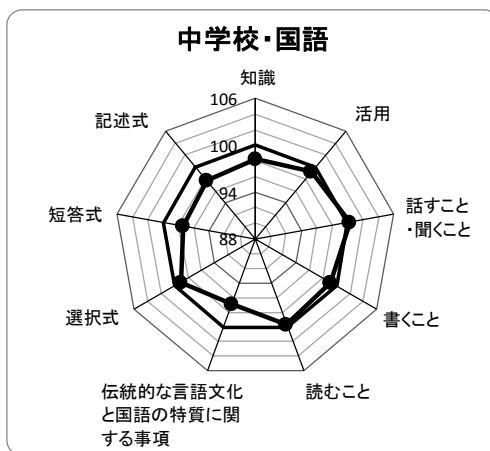
※全国平均を100としたときの指標で示している。

【中学校】

知識（国語A）、活用（国語B）ともに平均正答率は、全国と同程度である。領域別では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が、全国を下回り、問題形式別では、「短答式」「記述式」が全国を下回った。

平均正答率（%）

中学校	千葉県(公立)	全国(公立)
国語A	76	77.4
国語B	72	72.2



知識／活用	知識	98.2
	活用	99.7
領域等	話すこと・聞くこと	100.3
	書くこと	99.2
	読むこと	99.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	96.9
問題形式	選択式	99.1
	短答式	97.4
	記述式	97.7

※全国平均を100としたときの指標で示している。

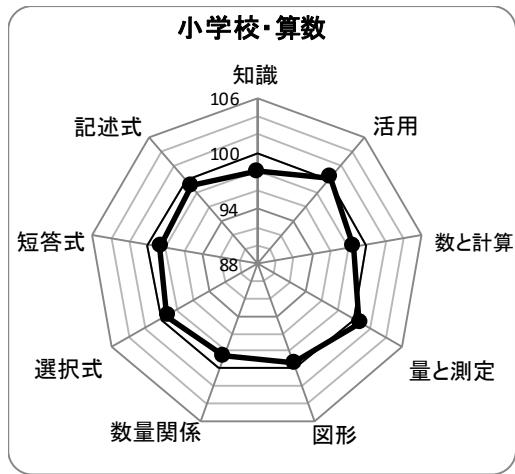
(2) 算数・数学

【小学校】

知識（算数A）、活用（算数B）とともに平均正答率は、全国と同程度である。領域別では、「数と計算」「数量関係」が全国をやや下回り、「量と測定」「図形」は全国と同程度である。問題形式別では、「短答式」が全国をやや下回った。

平均正答率（%）

小学校	千葉県(公立)	全国(公立)
算数 A	77	78.6
算数 B	46	45.9



知識／活用	知識	98.0
	活用	100.2
領域	数と計算	98.5
	量と測定	100.7
	図形	99.4
	数量関係	98.6
	選択式	99.2
問題形式	短答式	98.6
	記述式	99.1

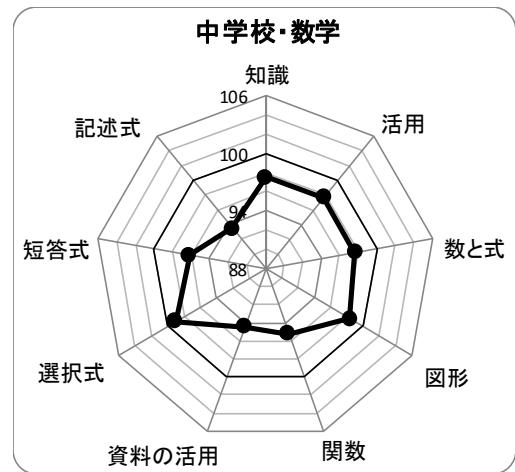
※全国平均を100としたときの指標で示している。

【中学校】

知識（数学A）、活用（数学B）ともに平均正答率は、全国を下回った。領域別では、「図形」が全国をやや下回り、「数と式」は下回り、「関数」「資料の活用」については大きく下回った。問題形式別では、「記述式」が全国を大きく下回った。

平均正答率（%）

中学校	千葉県(公立)	全国(公立)
数学 A	63	64.6
数学 B	47	48.1



知識／活用	知識	97.5
	活用	97.7
領域	数と式	97.7
	図形	98.4
	関数	95.2
	資料の活用	94.4
	選択式	99.0
問題形式	短答式	96.2
	記述式	93.5

※全国平均を100としたときの指標で示している。

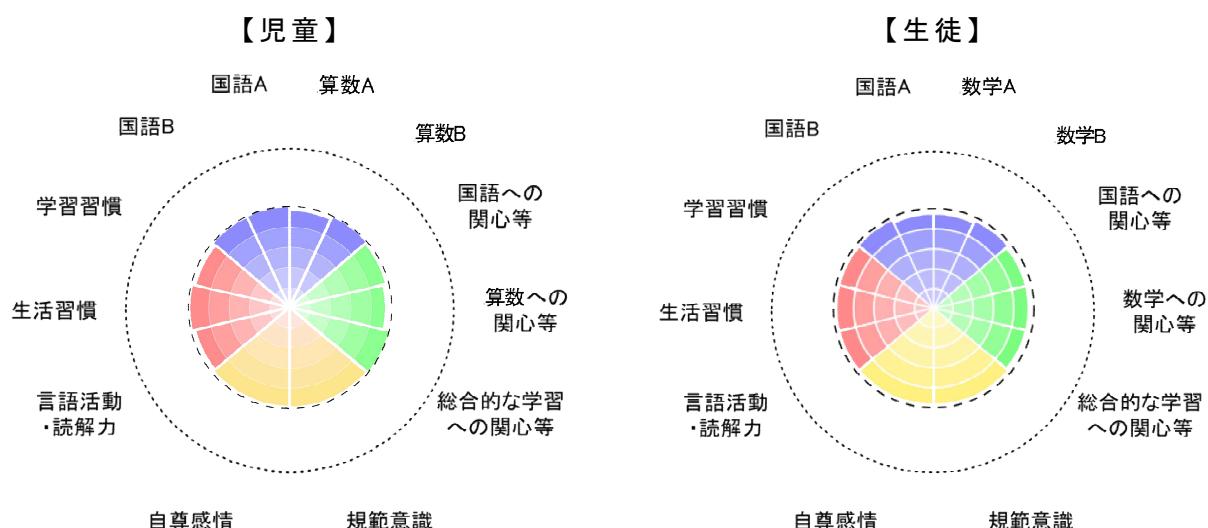
5 質問紙調査に関する調査

※チャート図は、千葉県の調査結果について、全国を母集団として標準化したものである。内側の点線が全国平均を表している。
※◇は成果を、◆は課題を示している。

(1) 児童生徒質問紙調査

全体的に、児童生徒とともに全国と同様の状況である。
領域別に見ると、児童生徒とともに、「算数・数学への関心等」「自尊感情」「言語活動・読解力」「学習習慣」が全国を下回っており、継続した課題となっている。生徒は「総合的な学習への関心等」が全国を下回っている。

〈児童生徒質問紙調査と教科の結果〉



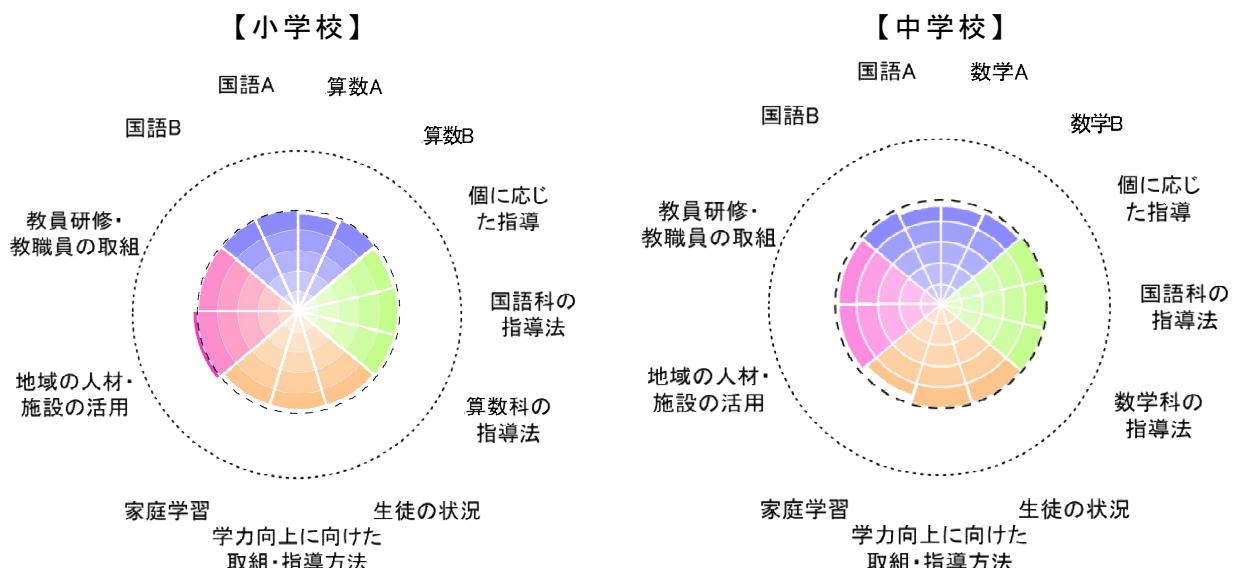
領域名		対応する質問番号	成果と課題
学習に対する 関心・意欲・ 態度	国語への関心等	児 69～76 生 71～78	◇「国語の勉強が好き」な児童の割合は、全国を上回っている。 ◇「読書が好き」な生徒の割合は、全国を上回っている。
	算数・数学への関心等	児 78～87 生 80～89	◆「算数・数学への関心等」は、児童生徒とともにすべての項目で全国を下回っている。
	総合的な学習への関心等	児 54 生 56	◆生徒の「総合的な学習への関心等」は、全国を下回っている。
規範意識・ 自尊感情	規範意識	児 49～53 生 51～55	◇児童生徒ともに「規範意識」が、全国と同程度である。
	自尊感情	4～6, 10	◆生徒の「自尊感情」が、全国をやや下回る。
学習の基盤となる活動・ 習慣	言語活動・ 読解力	児 7～9, 36, 56～60, 64 66～68 生 7～9, 38, 58～62, 66 68～70	◆児童の「言語活動・読解力」は、全国を下回っている。 ◇児童生徒ともに「生活習慣」は、全国と同程度である。
	生活習慣	1～3	◆児童生徒ともに「学習習慣」は、全国を下回っている。
	学習習慣	児 29～32 生 31～34	◇「家で授業の予習をしている」生徒の割合は、全国を上回っている。

(2) 学校質問紙調査

全体的に、小中学校ともに全国と同様の状況である。

領域別に見ると、小学校では、「地域の人材・施設の活用」が全国を上回り、「個に応じた指導」は、下回っている。中学校では、「家庭学習」のすべての項目で全国を下回っている。

〈学校質問紙調査と教科の結果〉



領域名		対応する質問番号	成果と課題
教科指導	個に応じた指導法	60～62	◇中学校の「数学のチームティーチング」は、全国を大きく上回っている。 ◆小中学校ともに「算数・数学の習熟度別の少人数指導」は、全国を下回っている。 ◆小中学校ともに、「補充的・発展的な学習指導」は全国を下回っている。
	国語科の指導法	64～69	
	算数・数学科の指導法	70～73	
学力向上	児童・生徒の状況	12～19	◇中学校の「授業でノートに学習の目標とまとめを書く」は、全国を上回っている。 ◇「本やインターネットなどを使った調べ学習の指導」は、小中学校ともに全国を上回っている。
	学力向上に向けた取組・指導方法	小 中 22～25 小 32～51 中 32～48 50～51	◆小学校の「放課後、長期休業日の補充的学習サポート」は、全国を大きく下回っている。 ◆中学校の「資料を使い発表できる」は、全国を下回っている。
	家庭学習	小 90～97 中 88～95	◆中学校の「家庭学習」は、すべての項目で全国を下回っている。
学校経営	地域の人材・施設の活用	小 80～82, 84 86～89 中 79～81 83～87	◇小学校の「職場見学・職場体験」は、全国を大きく上回っている。 ◆「自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っている」は、小中学校ともに全国を下回っている。
	教職員研修・教職員の取組	小 26～31 98～111 中 26～31 96～109	